



発行所

公益社団法人 全国珠算教育連盟

青森県支部

所在地 三沢市中央町4丁目4-6

☎ 0176 (51) 5018

支部長 斎藤 隆

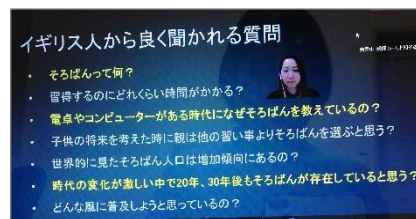
責任者 福士隆行

## 第68回全国珠算研究集会、オンライン開催

3月26日・27日、第68回全国珠算研究集会(兵庫県支部担当)がオンラインで開催され、全国から540名、青森県支部からは9名の方が参加しました。今回は、兵庫県姫路市で開催の予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大の影響により現地での開催が困難な状況であるとの判断にいたりオンラインでの実施となりました。26日は午後1時45分開会、工藤壽和理事長が「このたびはコロナ禍により現地開催がかなわずオンラインへの変更を余儀なくされましたが、参加者にとって現地開催に匹敵する充実した研修になることをねがっています」と挨拶しました。

第一講座『新応用計算の全容について』では山戸克弘検定競技委員長が応用計算の改訂箇所について(消費税率の変更など)詳しく説明しました。第二講座『教具としてのそろばんの魅力とイギリスでの活動について』はイギリス在住のホールト知子氏が講演、イギリスからオンラインで生中継されました。翌27日(第二部)は午前9時30分より、第三講座『オンライン授業の活用法～コロナ禍における授業展開』を東京都支部の扇谷直樹氏が講演予定でしたが体調不良のため欠席となり、先生の体調が回復されたのち講座を収録し配信することとなりました。第四講座は沖縄県支部の上江州由樹氏が『珠算人はいつも二刀流～指導と教育・デジタルとアナログ・前向きと超前向き』と題し講演、そろばん上手なそろばん好きを増やすために「特技＝そろばん」にする指導と「趣味＝そろばん」にする指導について持論を展開しました。

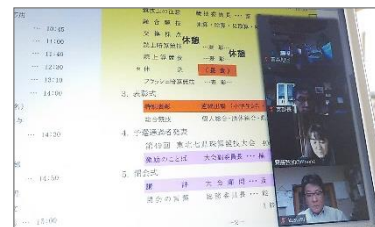
次回は令和5年3月25日、岡山県で開催予定です。オンラインによる研修会や諸会議にもだんだん慣れてきて便利で良いところも認識されてきましたが、この全国珠算研究集会は参加者の見聞をひろめ、全国の珠算仲間と交流することが出来る貴重な機会です。早くコロナ禍が収束し来年は岡山県で現地開催が実現する事を期待します。



## 令和3年度第3回常任委員会・オンライン開催

令和3年度第3回常任委員会が4月17日、オンラインで開催されました。午前9時30分に開会、支部長挨拶、議長選出、事務局より定足数の報告があり会議は成立、議案審議に入りました。第1号議案「令和4年度事業計画ならびに収支予算案について」斎藤隆支部長、各執行部長が説明、質疑応答があり審議の結果承認されました。協議報告事項は、以下の通りです。

- ◆第52回青森県珠算競技大会兼東北七県大会予選について…会場開催にするかオンライン開催か各地区より意見を聞いた結果、オンラインで開催に決定した。(6月12日開催)
  - ◆第49回東北七県珠算競技大会について…各県支部においてオンラインで行うが他県支部の要請で青森県支部が主導する。青森県会場は『ハートピア ローフク』。(7月29日開催)
  - ◆オンライン講習会について…6月5日に『応用計算の改正点とその指導について』と題して行う予定だったが、本部で同様の講習会が行われることから中止とする。
  - ◆定時総会について…8月21日(日)三沢市国際交流教育センターイベントホールで総会と講習会を行う。(12時30分～16時30分)講習会は『試験委員委嘱講習会』のため会員全員に受講義務がある。
  - ◆会員表彰(副賞)について…1回目の受賞者には楯など物品で1万円以内、2回目以降は5千円以内のカタログギフトとする。◆その他…ネット広告を利用する地区には3万円の補助する。
- 支部会則の改訂と慶弔規定では弔慰金の基準額が変更になったことの説明があった。(12時閉会)



## “ウィズコロナ時代”～開塾とこれからの指導に向かって～ 青森地区 川村 恵美子

私は2020年5月連休明けに、自宅の一室で珠算教室をスタートしました。以前より珠算教室で勤務し指導経験は数年ありましたが、検定種目が違う点で応用問題や開法を思い出す為に、時間があればひたすらそろばんを弾きました。それと同時に、建設業に携わる夫の手を借りて、自分達で教室のリフォームを行いました。元々子供部屋だった場所を変えるのは想像以上に大変でしたが、生徒達を想うと部屋の様々な点が気になり、夜遅くまで試行錯誤する毎日でした。この時はとにかく頭の中は開塾準備に必死だったので、コロナ禍での開塾に不安を感じる時間はありませんでした。慌ただしい中何とかリフォームも終わり、準備も大体整った後、付近の学区内に生徒募集のポスティングを依頼しました。数日後、近所や知人の子供達が3名入会してくれましたが、この生徒募集前に、実家の両親から開塾について大反対されており、スタート直前に気持ちが一転し戸惑っていました。そういった状況の中、入会を決めたお母さん達から「休校中で何もしないと勉強不足が心配で…」、「前からそろばんを習わせたくて、近くにできて嬉しい」など、自分にとってプラスに考えられる良い意見を聞く事ができ、とても励みになりました。その数週間後、長かった臨時休校が徐々に解除され、嬉しい事に少しずつ新入生が入りました。2、3人が同じテーブルで練習し、違う学校でもいつの間にか生徒同士が仲良くなり、練習中の問題集を見せ合うなど心とむ場面が見受けられました。また普段の練習には変化をつけるよう、現在も入門時から検定や読上算を積極的に行うようにしています。読上算は生徒からリクエストがあり、「ごめいさん！」の言葉は、教室が明るくなります。生徒一人一人が学ぼうとする姿勢は、開塾まもない私にとって自信にも繋がる糧になり、徐々に充実した日々を感じることができました。日頃、生徒には必ず挨拶をするように伝えています。「こんにちは」「さようなら」を言わず、入退室した時はやり直しです！コロナウィルスの影響で誰もが不安になる今こそ、挨拶を交わす事でお互い元気を分け合い、練習のメリハリをつける上で大事な事だと思います。そして塾として必要な行動力や判断力を失わないよう、とにかく自分が明るく、冗談も交えながら子供達と接するよう意識しています。大声での注意は控えているつもりですが、私の家族から指導中の会話が居間まで丸聞こえと言われます。自分はふと気になる事を考えたら、即行動してしまう性格です。その結果、成功や後悔を繰り返してきましたが、新たな再スタートとして2021年4月、2校目の教室を開きました。同じくリフォームは自分たちで行い、建物の老朽化で自宅での開塾よりも大幅に手間と時間が掛かりましたが、その甲斐あって完成後は自分の思い描いていた通りの教室に仕上がりました。この時もコロナ禍の影響がとても心配でしたが、初日より体験の問い合わせや入会者もあり、準備に協力して頂いた方々に大変感謝しています。



最後に少子化の問題、デジタル化が進む今、他の習い事に負けない珠算の脳力効果をもっと世の中に知って欲しいと思います。最近では小学校入学前に習う子が少しずつ増えてきました。こういった良い兆候を大切に、計算力を高める事はもちろん、全珠連の特徴である応用問題や幼児の九九練習など、生徒が分かりやすい言葉を交え、短時間で理解できるような伝え方を工夫していきたいと思えます。今後もコロナ禍に負けない教室を目指し、生徒と共に様々な事へ挑戦していきます。

## 第52回青森県珠算競技大会 兼 第49回東北七県珠算競技大会予選会

### 結果報告(優勝のみ)

開催日：令和4年6月12日(日)  
場所：6会場をつないで、ワライ開催。

#### 【団体競技】

4年生以下の部	東北珠算塾
小学校の部	友香そろばん
中学校の部	三沢珠算塾

#### 【個人総合】

3年生以下の部	柏葉 侑斗
4年生の部	蛸沢 鈴
5年生の部	高清水ももな
6年生の部	高木 優風
中学校の部	赤塚 桜菜

#### 【読上暗算】

4年生以下の部	山本 雫月
5・6年生の部	山内 勇和
中学校の部	赤塚 桜菜

#### 【読上算】

4年生以下の部	柏葉 侑斗
5・6年生の部	山内 勇和
中学校の部	坂澤 里優

#### 【フラッシュ暗算】

4年生以下の部	柏葉 侑斗
5・6年生の部	山内 勇和
中学校の部	沼山 大斗



## 検定試験十段合格者

- ・ 406回 検定試験—令和3年11月28日  
**暗算** 武部 翔真 (八戸地区)
- ・ 407回 検定試験—令和4年1月30日  
**暗算** 柳田 裕斗 (西北五地区)
- ・ 408回 検定試験—令和4年3月20日  
**珠算** 守谷 美結 (三沢地区)  
**暗算** 守谷 莉暖 (三沢地区)  
柏葉 康汰 (三沢地区)  
橋本 悠聖 (三沢地区)

## 令和4年7月~9月の行事予定表

- 7/24(日) 第410回検定
- 7/29(金) 東北七県大会(ワライ開催)  
※ 青森県会場：ハートピア ロー77(青森市)
- 8/8(月) 全日本選手権
- 8/13(土)~16(火) 支部事務局休み
- 8/21(日) 常任委員会・定時総会・講習会  
※ 会場：国際交流教育センター(三沢市)
- 8/28(日) 下級検定
- 9/25(日) 第411回検定

